

丑久保健一さんのボールとの出会い

茂木中学校 2015/3/12

名前 _____

ステップ1：触ってみて！感じるまま、言葉にしてみてください！

- ・造形要素とのふれあいを楽しみながら、班で意見交換し、班の発表を行います。
- ・触ってみて、どういう感触でしたか？

ステップ2：ボールと対話してみましよう！

- ・班活動をします。ボールに話しかける人、ボールになりきって答える人に役割を決めて、話し合いしましょう。
- ・ボールとどのような話をしましたか？ ボールの気持ちを想像したでしょうか？なぜボールがへこんでいるのでしょうか？ボールを自分に置き換えてみると、どんなつながりがみえてくるか、考えてみませんか！

* 丑久保健一さんとボールについて * * * * *

丑久保健一さんは、1947年東京に生まれました。大工であった祖父の使っていたノミの美しさに魅せられ、中学の頃より木片を彫り始めました。その後、美術学校卒業し、栃木県で制作活動をし続けました。2002年に55年の生涯を終えるまでに、さまざまな作品を多く残していますが、なぜか丑久保さんは300個ぐらいのボールに違った凹みを彫り続けました。少年時代の丑久保さんは、底がピンと張っていながら、緩やかになっている上方の凹みが気になっていました。そして、凹んだボールは、空気が抜けただけの変化なのに、同じものが二つとないところが面白いです。今回、夫人である久子さんのご好意により、ボールを授業のためにお借りできました！

ステップ3：作者へのメッセージを書いてみよう！

(あるいは、奥さんへのメッセージを書いてみましょう。)

例えば、触った感触や感動したこと、感謝したい気持ちなど、自分はどのようにボールに癒(いや)されたか、あるいはボールを通して自分のことをどのように考えたか、というような内容を書いてください。

メッセージ用紙.....切り取り線.....

